

Summer Special Exhibition: Scenes of Battle —Depictions of Brave Warriors of the Past—

夏季特別展 合戦図 もののふたちの勇姿を描く

2019年 7月27日(土) ~ 9月8日(日)

主催：徳川美術館・名古屋市蓬左文庫・読売新聞社

古来、幾度の戦を経て、変革や安定を繰り返しながら日本の歴史は紡がれてきました。これらの戦の様子は、様々な目的で中世より描かれ記録されています。本展覧会では中世合戦絵巻から戦国合戦図までを展覧し、合戦図の多様性を示しながら、合戦図の果たした役割や意義を再考します。

合戦図は単なる記録画ではなく、武家の教育や自家の顕彰などの目的で描かれました。一方で、源平の合戦などは、物語化されて民衆まで広く享受されていきます。合戦図の形態も絵巻だけではなく、屏風や掛軸、画帖や冊子など様々な形で親しまれました。このような合戦図の展開の中で、戦国という大乱の時代を描いた戦国合戦図が、どのように成立し、描かれたのかにスポットを当て、中世から脈々と描き継がれた合戦図の系譜を明らかにします。

A期間：7月27日(土)～8月18日(日)／**B期間**：8月20日(火)～9月8日(日)
 ・「◎」は重要文化財です。
 ・都合により出品作品が変更になる場合がございます。
 ・展示リストの順番は陳列の順番と必ずしも一致しません。
 ・参考作品は図録に掲載されておりません。

第2部 大乱・戦後の世を描く

合戦図の長い歴史の中で、近年注目を浴びているのが、室町幕府の衰退と内乱の後、全国で勃発した戦国の合戦を描いた「戦国合戦図」です。中世に描かれた合戦図は、物語絵として右から左へと画が展開することでストーリーを進めることができる絵巻形式で描かれてきましたが、戦国合戦図の多くは屏風形式で描かれました。これは、物語性よりも「長篠」や「関ヶ原」という実際の戦場に即して山河を配置し、そこに敵味方の陣や、馬印、旗指物を描き込んでいくという地理的再現を重視したためであり、大画面はその様子を一望するのにふさわしい形態でした。

戦国合戦図は、戦国期に活躍した自家の先祖を顕彰することが主たる製作の目的でありましたが、次第に史実と離れながら、軍記物語の絵画として愉しまれるようになります。本章では戦国合戦図の登場から多様な展開の実態を探ります。

No.	名称・作者	伝来	時代・世紀	所蔵者	展示期間
【戦国合戦図の登場】					
1	◎ 関ヶ原合戦図屏風 八曲一双	津軽家伝来	江戸 17世紀	大阪歴史博物館	隻替
2	長篠合戦図屏風 六曲一隻		江戸 17世紀	名古屋市博物館	B
3	賤ヶ岳合戦図屏風 六曲一双		江戸 17-18世紀	岐阜市歴史博物館	A
4	◎ 東照社縁起絵巻 五巻のうち巻二 詞 近衛信尋ほか筆 絵 狩野探幽筆		江戸 寛永17年<1640>	日光東照宮	巻替
5	東照宮縁起絵巻 五巻のうち巻二 詞 森尹祥筆 絵 住吉広行・板谷慶意・板谷慶舟筆		江戸 寛政6年<1794>	名古屋東照宮	巻替
6	大坂夏の陣図 模本	尾張徳川家伝来	江戸 弘化3年<1846>	徳川美術館	B
【戦国合戦図の伝播】					
7	長篠長久手合戦図屏風 六曲一双	尾張徳川家伝来	江戸 18-19世紀	徳川美術館	A
8	小牧長久手合戦図屏風 六曲一隻		江戸 18世紀	名古屋市博物館	B
9	長篠合戦図屏風 下絵 八幅		江戸 19世紀	東京国立博物館	
10	関ヶ原合戦絵巻 二巻 鳥文斎栄之筆		江戸 18-19世紀	名古屋市博物館	巻替
11	関ヶ原合戦絵巻 四巻のうち春巻・冬巻	田安德川家・尾張徳川家伝来	江戸 19世紀	徳川美術館	巻替
12	関ヶ原合戦絵巻 模本 二巻 長谷川雪旦筆		江戸 文化7年<1810>	大東急記念文庫	巻替
13	関ヶ原合戦岐阜城攻絵巻 下絵 一卷		江戸 19世紀	徳川美術館	巻替
14	関ヶ原合戦図屏風 二曲二双	田安德川家・尾張徳川家伝来	江戸 19世紀	徳川美術館	隻替
【戦国合戦図の多様化】					
15	山崎合戦図屏風 六曲一双		江戸 19世紀	大阪城天守閣	B
16	関ヶ原合戦図屏風 六曲一隻		江戸 19世紀	岐阜市歴史博物館	A
【幻の合戦図】					
17	大坂冬の陣図屏風 模本 六曲一双		江戸 19世紀	東京国立博物館	7/27 ~8/25
18	大坂冬の陣図屏風(肉筆模写) 六曲一双 武内勇吉筆		現代 平成2年<1990>	大阪城天守閣	8/27 ~9/8
特別公開	大坂冬の陣図屏風 デジタル想定復元 六曲一双		現代 令和元年<2019>	凸版印刷株式会社	

No.	名称・作者	伝来	時代・世紀	所蔵者	展示期間
19	銀箔置白糸威具足	尾張徳川家伝来 松平忠吉(徳川家康四男)着用	桃山 16世紀	徳川美術館	
20	紅・白・花色・紺段威具足	尾張徳川家伝来 徳川家康近侍着用(駿府御分物)	桃山-江戸 16-17世紀	徳川美術館	
21	錐形兜	尾張徳川家伝来 徳川義直(尾張家初代)着用	江戸 17世紀	徳川美術館	
参考 1	火縄銃 六匁筒 筒 人物面(アポロ)・唐草文象嵌	尾張徳川家伝来	ヨーロッパ 16-17世紀	徳川美術館	
参考 2	火縄銃 六匁筒 筒 マリア像・唐草文象嵌	尾張徳川家伝来	東南アジア 16-17世紀	徳川美術館	
参考 3	松明	尾張徳川家伝来・徳川家康所用	桃山-江戸 16-17世紀	徳川美術館	
参考 4	鎌・鉞・鉞	尾張徳川家伝来・ 徳川義直(尾張家初代)所用	江戸 17世紀	徳川美術館	
参考 5	菊桐葵紋散蒔絵刀掛(陣中道具のうち)	尾張徳川家伝来・徳川家康所用	桃山-江戸 16-17世紀	徳川美術館	
参考 6	菊桐葵紋散蒔絵手拭掛(陣中道具のうち)	尾張徳川家伝来・徳川家康所用	桃山-江戸 16-17世紀	徳川美術館	
参考 7	菊桐葵紋散蒔絵盃(陣中道具のうち)	尾張徳川家伝来・徳川家康所用	桃山-江戸 16-17世紀	徳川美術館	
参考 8	菊桐葵紋散蒔絵爛鍋(陣中道具のうち)	尾張徳川家伝来・徳川家康所用	桃山-江戸 16-17世紀	徳川美術館	
参考 9	菊桐葵紋散蒔絵重箱(陣中道具のうち)	尾張徳川家伝来・徳川家康所用	桃山-江戸 16-17世紀	徳川美術館	
参考 10	染付唐草文茶碗 銘 荒木	荒木村重・千利休・徳川家康(駿府御分物)・徳川義直(尾張家初代)所用	中国・明 16世紀	徳川美術館	
参考 11	古瀬戸肩衝茶入 銘 横田 大名物	足利義政・足利義昭・織田信長・ 豊臣秀吉・徳川家康・徳川義直所用	室町 15世紀	徳川美術館	
参考 12	古銅砧形花生 銘 杵のをれ 名物	豊臣秀吉・石川貞清・徳川家康(駿府御分物)・徳川義直(尾張家初代)所用	中国・元-明 14-15世紀	徳川美術館	
参考 13	徳川家康 長久手合戦陣中画像	鈴木丹後守献上・尾張徳川家伝来	江戸 17世紀	徳川美術館	B
参考 14	金箔押瓦破片 大坂城青屋口堀外出土	陸軍大阪砲兵工廠寄贈	桃山 16世紀	徳川美術館	